

フキアハ

名どりはフキアハと 其どいけけてぬ

今日のひと日の車 静かに思ふ

たしかさん存歎たつた

メモ帳の整理をしていたよ けしりたきで

かいてあつた

若いころワケとダークアゲルしとりのきりい大

あつた時 よく読つていた

そのころは 少くも 楽しかつたうちだ

出アハとわかぬのんまの中

おめねは かぞえそれあのほど多く

治々とは足はヤト 了ごエリ

又次水あうゆら

ゆりくりアミダくじを 見ていとひるも存

かつた

いねねの石名司は 輸入水の 不潔子の刀と木

すぐいつたいたる

今年お茶 何処かのこし 入れ木のゴト

知者してしすつた

人のまのいけ 大面といひるぶら

そのころは

去る所の人のよし ありたど居そのひるん

なかつたろうだ

現在け人の去りたど 急にむとしい

宅邸便と ヘルパー以外 人を見かける

こととやい

友達は 同じことを言っている

年をとるといふことは 人とのつきりいも

なくする

自分より若い人より 知りあひがかわつた

せいもある

といつて 若い人ほどすわりこいなる

同年会の友だちが テレウのつきあひ

何年もかぶを 見てりなる

何かわりな法はなるか

問題水のころでしすつた

2022
9/30